



日時: 2025年 4月30日(水)・5月28日(水)・6月25日(水)
7月30日(水)・8月27日(水)

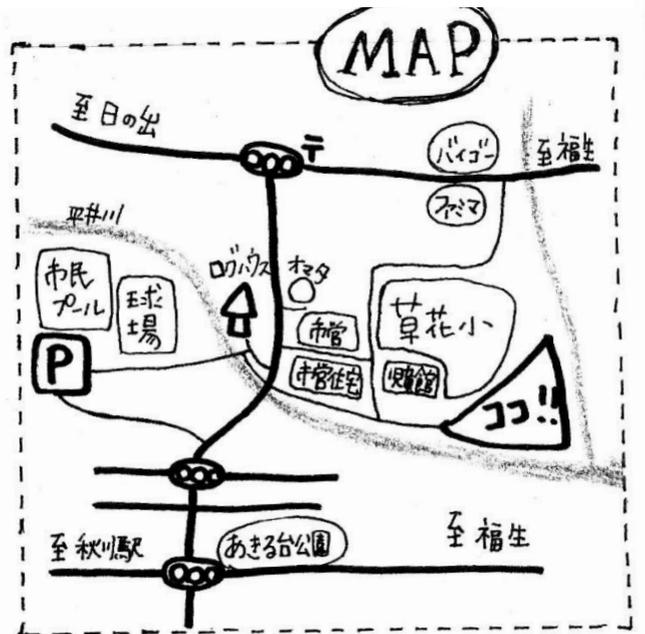
★基本 月最終週の水曜日 10:30~17:00

場所: あきる野市草花 三角河原(平井川河川敷)

参加費: 無料 出入り自由 申し込み不要

公園みたいな遊具はありません。子ども自身が遊びを生み出す遊び場です。大人も子ども時代に戻って一緒に遊びましょう♪

★お弁当・飲み物・着替えなどをご持参ください



大人は子どもたちに寄り添って見守りながら、子どもと共に育っていきましょう



あきる野にぼうけん遊び場をつくる会

平間 良子 ☎042 (550) 2597
葉狩 寿子 ☎042 (550) 4097

t.hgr0604t@ezweb.ne.jp



遊びは生きる力の源

遊びが生まれる出発点は「おもしろそうだ」「楽しそうだ」という気持ちである。それが「やってみたい!」という心の動きへ変化するとき、遊びが始まる。どんな遊びであっても自分で目標を立て、あるいは立てなくても状況に応じてやり方を柔軟に変えられるからこそ、遊びには、楽しさがある。そして、そうした自由な遊びを通してやり方はひとつではないこと、気を取り直すこと、その時々が必要とされる状況を判断する力などが身に付いていく。遊びには、知的にも、体力的にも自分の限界に挑戦したいという要素を含んでいるので、必然的にある種の危なさ「リスク」を伴っている。

しかし、子どもは遊びながら五感を働かせ、体力などとともに、自己防衛を育てていく。そして、たとえリスクを伴うような場面に出会ったとしてもそれに対応できる術を身に付けるのである。

「おもしろそうだ」だから「やってみたい」という気持ちから遊びが出発している限り、失敗も成功も、迷いも達成感も、そして痛みも楽しさも、すべて自分自身のものである。また、その「やってみたい」という思いが強いほど、遊びを極めていく（堪能する）ために、ひとつ一つのハードルを乗り越えていくエネルギーを生み出していく。そして遊びを通して、子どもたちは生きていくために必要なちからを、子ども時代に身に付け、成長する。

自主性、ものごとをやりとげる力、創意工夫する力、協調性、思いやりまわりの人とのコミュニケーション能力、忍耐力、判断力、勇気、危険を回避する安全能力などを体得していく。自分のしたいように楽しく遊んでいるうちに、結果として、いろいろなことを体得する。また、「楽しめる」ということ自体、人生に対して、前向きな姿勢を培うことにつながり、自分らしさを知り、自分自身の尊厳をも確かめることができる。それは同時に他人の尊厳をも認めることができ、自分を生かし、他人を生かす道へと通じていく。遊びは子どもたちにとって人として成長し、共に生きていく力の源なのである。

—遊びの力（萌文社）より—

